



データ登録奨励制度

東北大学 計測・分析分野

Ver 1
2023/06/16

ARIM事業では皆さまからご提供いただくデータを有効に活用し、データ駆動型研究を推進することを大きな目的に掲げています。論文や特許等で公知化された研究開発には公知化されたデータだけではなく、その研究の根拠となった未公知データが数多く存在し、それらはデータ駆動型研究のデータプラットフォームを構築する上で大変有益な情報です。また、これらの文献は適正な査読等により信憑性も担保されています。そこで、東北大学 計測・分析分野では、公知化された研究開発の周辺に眠っている未公知データをぜひご提供いただきたく、データ登録後にご希望の装置を1日無償提供する『データ登録奨励制度』を設けました。

1. データ登録奨励制度とは

論文や特許等（doi のついた論文等）が公知された後に、その年度もしくは過去の共用事業（ARIM 事業もしくはナノプラ事業）により得られた関連する未公知データを新たにご提供・ご登録いただいた場合、東北大学 計測・分析分野で提供しているご希望装置*1の装置利用料を1日分（8時間）無料といたします。

*1 東北大学 計測・分析分野の金属材料研究所および先端電子顕微鏡センターが提供する装置が対象です。
(<https://www.cints.tohoku.ac.jp/pricelist/>)



2. ご利用条件（緑文字でスタッフからのコメントを記載しております。参考にしてください。）

- (a) 東北大学 計測・分析分野の現在もしくは過去の ARIM 課題・ナノプラ課題により取得されたデータを用いた論文・特許等が公知となったこと。
- (b) 論文等で公知された研究開発に関連する未公知データを提供・登録可能であること。
⇒ 過去の課題で取り組んだ研究開発が論文等で公知化されていれば、その未公知データをご提供いただくことで、本制度の適用が可能です。年度は関係ありません。ご登録いただいた後、2年間の非共有期間（エンバゴ）があります（さらに1年延長可能）。
⇒ 現時点では、登録可能なデータは ARIM 登録装置に限定されています。将来的には変更される可能性があります。
- (c) 本制度のご利用年度に ARIM 事業に課題採択され、過去のデータ取得で用いた装置と同種の装置を利用している、もしくは利用予定であること。
⇒ 本制度をご利用する年度にも ARIM 事業への課題申請をお願いします。
⇒ 上記の課題申請者は公知された論文等と同一研究グループに属している必要があります。
- (d) 当該年度に同一研究グループが申請する複数の ARIM 課題に対して、本制度の適用は2件までです。
⇒ 例えば、同一研究グループから5報の論文が発表されたとしても、同一研究グループで本制度の適用は2件/年度までのため、最大で2日分の装置利用料が無料となります。
- (e) 公知された論文・特許等1点に対して、本制度の適用は1回までです。
⇒ 同じ研究内容で論文発表および特許出願（公開）の両方を行った場合でも、本制度の適用は1回までです。
- (f) 本制度を適用した利用料免除での装置利用は、『データ登録あり』枠です。
⇒ 装置利用後にガイドラインに沿ったデータ登録をお願いします。
- (g) 本制度をご利用いただく場合、新たに公知となった論文等に関するできるだけ多くのデータ提供をお願いします。

3. 本制度の申請方法

- (1) ARIM 課題の担当スタッフもしくは事務局へご連絡ください。
- (2) 公知された論文や特許等の情報とともに、未公知データのご提供をお願いします。
- (3) 装置利用料免除でご希望の装置を1日、『データ登録あり』枠で予約します。
- (4) 通常通り、ご利用ください。（代行等の場合、技術支援料は別途かかります。）

Case1. 当該事業の FIB および TEM を利用する場合、いずれかご指定装置の利用料が免除されます。

Case2. FIB のみ当該事業を利用し TEM は外部組織で行う場合、FIB 装置利用料が免除されます。

お問い合わせ： 東北大学 ARIM 事業 計測・分析分野（金属材料研究所 分析コア ARIM 事業班）
TEL：022-215-2124 E-mail：imr.arim.office@grp.tohoku.ac.jp

